九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

言語音声の聴取経験が音声知覚に与える影響 ： 韓国語母語話者と日本語母語話者の違いに着目して

成, 儒彬

https://hdl.handle.net/2324/6787391

出版情報：Kyushu University, 2022, 博士（心理学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

KYUSHU UNIVERSITY

氏　　名	成　儒彬
論　文　名	言語音声の聴取経験が音声知覚に与える影響： 韓国語母語話者と日本語母語話者の違いに着目して
論文調査委員	主査　　九州大学　准教授　　光　藤　宏　行 副査　　九州大学　教授　　中　村　知　靖 副査　　九州大学　講師　　山　本　健太郎 副査　　九州大学　准教授　　太　田　真　理

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文では，破裂音の知覚に言語経験がどのように影響を与えるかを検討した３つの心理学的実験を報告している。第１章では，破裂音の知覚と母語の関係についての先行研究を詳細にレビューし，関連する音響的手がかりを紹介し，先行研究からは明らかになっていない点を指摘した。第２章では，語頭を変化させた自然音声を用いた２つのオンライン実験研究および人工音声を用いた実験室研究によって，韓国語話者および日本語話者の知覚的判断を測定した。その結果，韓国語話者は後続母音の基本周波数に対して日本語話者より高い感度を持つという知見を得た。第３章では，これらの結果を先行研究と比較し，日韓両国で用いられる表記との関係について考察を行い，さらに日韓話者間のコミュニケーション支援を含めた考察を行った。

以上のように本論文は，破裂音の知覚に言語経験がどのように影響するかについての詳細な実験的検討を行い，音響手がかりとの明快な関連を実証したことから，優れた研究であると言える。よって，本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。